

選択的評価基準「研究活動の状況」(案)

選択的評価基準 A 研究活動の状況

- A - 1 短期大学の目的に照らして、研究の実施体制及び支援・推進体制が適切に整備され、機能していること。
- A - 2 短期大学の目的に照らして、研究活動が適切に行われており、研究の成果が上がっていること。

趣旨

短期大学は優れた人材の育成を担うとともに、幅広い研究活動によって、広く社会・経済・文化の発展を支える役割を社会から期待されています。

機構の短期大学評価基準では、教育活動を中心とした短期大学の総合的な状況の評価を実施するとの基本的方針から、研究活動に関しては教育活動と関連する側面から評価を行います。具体的には、基準3で「教育の目的を達成するための基礎となる研究活動が行われていること」を挙げるとともに、基準5において「授業の内容が、全体として教育の目的を達成するための基礎となる研究活動の成果を反映したものとなっているか」との基本的な観点を設定しています。したがって、短期大学では、このような側面から研究活動について自己評価を行うこととなります。

一方、短期大学では、教育活動と関連する側面のみからでは十分把握することが難しい研究活動も広く行われています。短期大学が研究活動を継続して活発に進めるためには、研究を実施する体制及びその支援・推進を行う体制の整備、研究推進の施策の実施が不可欠です。同時に、短期大学は、現在の研究活動や研究成果の状況及び社会・経済・文化の領域への効果についての確に把握し、研究活動の改善や向上を図り、それらを社会に対して広く示していくことを求められています。

この選択的評価基準は、このような短期大学の研究活動に関する全般的状況の評価を希望する短期大学に対応するために設けられているものです。

この選択的評価基準では、まず、研究活動に関する短期大学の目的に照らして、研究を実施する体制、それを支援・推進する体制、研究推進のための施策の実施状況（組織内の資源配分に関する措置や研究に関わる規定の策定等）、研究活動の質の向上のための改善システムが、それぞれ適切に整備され、機能しているかを評価します。

さらに、成果物の刊行、共同研究の状況等を踏まえた研究活動の活発の度合、競争的研究資金の獲得状況、外部評価や受賞状況等から判断した研究の質の状況、研究成果の活用状況等の分析から明らかにされた社会・経済・文化的な貢献について、それぞれ短期大学の目的に照らして評価します。

基本的な観点

- A - 1 - 研究の実施体制及び支援・推進体制が適切に整備され、機能しているか。
- A - 1 - 研究活動に関する施策が適切に定められ、実施されているか。
- A - 1 - 研究活動の質の向上のために研究活動の状況を検証し、問題点等を改善するためのシステムが適切に整備され、機能しているか。

- A - 2 - 研究出版物、研究発表、特許、その他の成果物の公表状況等及び国内外の短期大学・研究機関との共同研究や地域との連携状況等から見て、研究が活発に行われているか。
- A - 2 - 競争的研究資金の応募・獲得状況、外部評価や研究プロジェクト等の評価、受賞状況等から見て、研究の質が確保されているか。
- A - 2 - 社会・経済・文化の領域における研究成果の活用状況や関連組織・団体からの評価等から見て、社会・経済・文化の発展に資する研究が行われているか。